

大卒公務員試験 ミクロ・マクロ経済学

◎確認テスト

解答期間：5月15日～5月20日 結果配信日：5月22日

受験料：無料

※結果配信日に正答番号を会員マイページに掲載いたします。

実力試しとして、お申込みいただければ無料で模試のような形で、問題を解いてみて下さい。すぐに正答率、順位などの結果が分かります。

※イメージ

	得点	順位	平均点
総合	76	10,442/41,911	65.7

設問	選択	正答	選択率
1	2	◎	①0.5% ②97.4% ③1.8% ④0.2%
2	1	×	①63.8% ②9.5% ③19.2% ④7.3%

お申込みは
こちら



2次元コードをタップか選択

 東京アカデミー難波校

Tel:06-6645-0731

◎超直前講座 On Zoom

(解説講義)

日時：2021年5月29日(土) 13:00～17:50

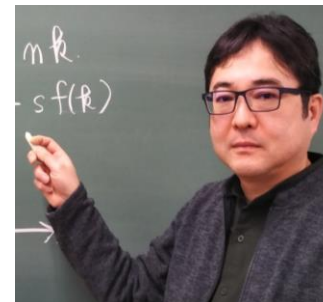
受講料：6,000円

※開講人数に満たない場合は、未開講となる場合がございます。予めご了承ください。

確認テストは解けましたか？

2021年度は6月6日に国家専門職、6月13日に国家一般職、6月20日に地方上級・A日程の1次試験が迫る中、ミクロ・マクロ経済学の基本問題のおさらいをして、試験に臨みませんか？

※Zoomを使用しますので、通信環境のご準備をお願いします。



講師紹介

平井 宏幸 先生

東京アカデミーで長年教鞭をとる。弊社主催大学内講座にも出講し、合格者を多数輩出。『この先生めっちゃわかりやすい!!』

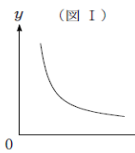
と受講生から大好評！

経済学ならこの先生におまかせ！

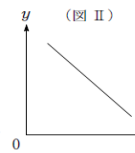
(解答・解説イメージ)

No. 1 標準 【無差別曲線】 Check!

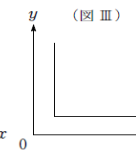
横軸にx財の消費量、縦軸にy財の消費量をとった無差別曲線が下図のように与えられるとき、消費者の効用最大化行動に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。ただし、限界代替率は絶対値で表されるものとする。



(図 I)



(図 II)



(図 III)

- 無差別曲線が図 I のように原点に対して凸の形状である場合、最適消費点は効用が最大となる飽和点であり、財の消費量が飽和点から過少であっても過剰であっても効用が低下する。
- 無差別曲線が図 II のように右下がりの直線で表される場合、2財は完全補完財でありx財とy財をある一定の比率で組み合わせて消費する。
- 無差別曲線が図 II のように右下がりの直線で表される場合、x財のy財に対する限界代替率が2財の価格比 $\left(\frac{x\text{財の価格}}{y\text{財の価格}}\right)$ よりも大きいならば、y財のみを消費する。
- 無差別曲線が図 III のようにL字型で表される場合、x財の価格が下落すると、x財の消費量は増加するが、y財の消費量の増減については確定しない。
- 無差別曲線が図 III のようにL字型で表される場合、x財とy財をある一定の比率で組み合わせて消費するが、所得が変化しても2財を消費する比率は変化しない。

【図例】完全代替財や完全補完財は特殊な無差別曲線の例である。それぞれの無差別曲線の特徴を押さえておく。

【解説】1. 無差別曲線が図 I のように原点に対して凸の形状である場合、財の消費量が大きいほど効用が高くなり、飽和点がない(不飽和の仮定)。本選択肢の説明は無差別曲線が凹型の場合である。
2. 無差別曲線が図 II のように右下がりの直線で表される場合、2財は完全代替財である。2財が完全代替財のとき、2財の量にかかわらず2財の限界代替率MRSは常に一定になる。

超直前講座
参加者特典!

解答・解説を
配信いたします。